

## 平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年2月10日

上場会社名 東急ロジスティック株式会社 (コード番号：9079 東証第2部)  
 (URL <http://www.tokyu-logistic.co.jp>)  
 代表者 取締役社長 高橋 正守 TEL:(03)5762 2215  
 問合せ責任者 取締役経理部長 原田 道夫  
 親会社名 東京急行電鉄株式会社(コード番号：9005)

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (内容) 固定資産の減価償却の方法  
 年度見込額のうち当四半期分を計上しております。  
 その他影響額が僅少なものにつき、一部簡易的な方法を用いています。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	25,160	4.3	828	-	849	-	746	-
16年3月期第3四半期	26,298	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	34,478	5.9	897	29.9	1,385	28.8	1,243	41.6
	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益					
	円	銭	円	銭				
17年3月期第3四半期	26.63		-					
16年3月期第3四半期	-		-					
(参考)16年3月期	43.37		-					

(注) 売上高以外の四半期経営成績の開示は当四半期から行っているため、前年同四半期については記載しておりません。売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

#### [経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における国内経済は、設備投資が増加傾向を維持し、雇用環境の改善も明るさを取り戻しつつあるものの、輸出の頭打ちや個人消費の低迷などで伸び悩み、景気回復は軟化した状況で推移いたしました。

また、運送業界におきましては、輸送量の減少、運賃水準の低下など事業環境の悪化が続き、依然として低迷状態にありました。

このような環境のもと、当社グループは中期経営計画にもとづき、物流機能の集中・強化による独自の事業モデルの構築に努め、輸出入関連業務、物流センター業務、館内物流業務等における業務を推進いたしました。

当社グループの当第3四半期における連結売上高は前年同期比4.3%減の25,160百万円となりました。

これは前連結会計年度後半より大口荷主百貨店が新物流体制に移行した等による減収が主なものであります。

当初予算に対する連結売上高は、新規業務の稼働による増収があったこと等により、幾分上回って推移しております。

セグメント別売上高につきましては、物流事業では量販店・物流センター業務で新規荷主の受託等があり、輸送業務で事業所再編に伴う一部不採算業務からの撤退等があったものの、当初予算より増収で推移しております。

不動産賃貸事業については、ほぼ当初予算どおりで推移しております。

利益面につきましては、運賃・料金の値下げ傾向、新規事業の立ち上げ費用の増加、燃料費の高騰等、経営環境の厳しいなか、当社グループを挙げて原価の低減、徹底した経費削減に努めた結果、概ね当初予想どおりに推移しており、営業利益で 828 百万円、経常利益は 849 百万円、当四半期純利益では 746 百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	35,519	20,113	56.6	717.63
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	35,598	20,067	56.4	714.86

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期における総資産は、前会計連結年度に比べ 2,873 百万円減少しました。これは流動資産で短期貸付金 888 百万円が増加したこと、有形固定資産で 2,873 百万円減少したことによるものであります。有形固定資産の減少は土地売却 1,867 百万円と車両運搬具の減少 678 百万円が主なものであります。

株主資本は 20,113 百万円、株主資本比率は 56.6%、一株当たり株主資本は 717.63 円となりました。

3.平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	32,731	1,138	557

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 18円 88銭

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

第3四半期の業績は概ね予定どおり推移しており、平成 16 年 5 月 12 日に公表しました業績予想に変更はありません。

業績予想につきましては、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性をふくんでおります。

従って、実際の業績は様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる結果となりうることをご承知おきください。

添付資料

第3四半期連結貸借対照表  
第3四半期連結損益計算書

以上

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月 期3四半期)	前年同四半期 (平成16年3月 期第3四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
現金預金	896	-	-	-	332
受取手形及び営業未 収金	4,963	-	-	-	4,656
たな卸資産	38	-	-	-	35
その他の流動資産	1,905	-	-	-	1,097
流動資産合計	7,803	-	-	-	6,122
<b>固定資産</b>					
有形固定資産	22,440	-	-	-	23,516
無形固定資産	79	-	-	-	65
投資その他の資産	5,196	-	-	-	5,893
固定資産合計	27,716	-	-	-	29,475
資産合計	35,519	-	-	-	35,598
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
営業未払金	1,286	-	-	-	1,170
短期借入金・社債	3,945	-	-	-	3,866
その他の流動負債	2,864	-	-	-	2,412
流動負債合計	8,096	-	-	-	7,450
<b>固定負債</b>					
長期借入金・社債	1,941	-	-	-	2,591
その他の固定負債	5,112	-	-	-	5,230
固定負債合計	7,054	-	-	-	7,822
負債合計	15,150	-	-	-	15,272
(少数株主持分)					
少数株主持分	256	-	-	-	257
<b>(資本の部)</b>					
資本合計	20,113	-	-	-	20,067
負債、少数株主持分及び 資本合計	35,519	-	-	-	35,598

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.四半期連結貸借対照表の開示は、当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。

また、前年同四半期との比較についても行っておりません。

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月 期第3四半期)	前年同四半期 (平成16年3月 期第3四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
営業収益	25,160	26,298	1,137	4.3	34,478
営業原価	23,419	-	-	-	32,138
売上総利益	1,741	-	-	-	2,339
販売費及び 一般管理費	912	-	-	-	1,442
営業利益	828	-	-	-	897
営業外収益	131	-	-	-	683
受取利息及び	25	-	-	-	33
受取配当金	106	-	-	-	650
その他	110	-	-	-	195
営業外費用	98	-	-	-	180
支払利息	12	-	-	-	15
その他	849	-	-	-	1,385
経常利益	812	-	-	-	256
特別利益	27	-	-	-	201
固定資産売却益	784	-	-	-	54
その他特別利益	251	-	-	-	852
特別損失	32	-	-	-	191
固定資産売却損	218	-	-	-	660
その他特別損失	1,410	-	-	-	789
税金等調整前四半期 (当期)純利益	663	-	-	-	421
法人税等	1	-	-	-	32
少数株主損益	746	-	-	-	1,243
四半期(当期)純利益					

(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.四半期連結損益計算書の開示は、当第1四半期より実施しておりますので、売上高を除き前年同四半期の実績は記載しておりません。

また、前年同四半期との比較についても売上高を除き行っておりません。